

司祭不在のときの主日の集会祭儀(試用版)  
—「晩の祈り」の形式(聖体拝領を行わない場合)—

開祭

1 初め

会衆が集まると、各共同体で決めた方法によって式の始まりが知らされる。

一同は起立し、司会者とともに自らに十字架のしるしをする。

司 ✦ 神よ、わたしを力づけ、

一同 急いで助けに来てください。

司 栄光は父と子と聖霊に、

一同 初めのように今もいつも世々に。アーメン。(アレルヤ。)

2 賛歌

典礼季節やその日の特徴を考慮して、ふさわしい賛歌を歌う。

3 招きのことば

司会者は、ふさわしい言葉で一同を招く。

詩編唱和

4 一同は着席し、詩編を唱える。先唱の「アレルヤ」は四旬節には省く。

歌う場合は『教会の祈り』の旋律(『典礼聖歌』364)を用いる。

第一唱和(詩編110・1-5、7)王であり祭司である救い主

先 神は王しゃくを持つあなたをシオンから起こされた。アレルヤ。

四旬節、復活節に

先 主は勝利をおさめ、その力を現す。(アレルヤ。)

---

神はわたしの主に仰せになる。

「わたしの右にすわれ。はむかう者をおまえの足台とする。」

神は王しゃくを持つあなたをシオンから起こされた。

はむかう者の中で治めてください。

生まれた日からあなたには王の威厳が備わっている。

あなたは朝の露のように生まれ、光り輝く。

「メルキゼデクのように、おまえは永遠の祭司。」

これはゆるぎない神のことば。

神は、その右の手で  
怒りの日、王たちを砕かれる。  
主は諸国をさばき、勝利をおさめ、  
遠く地の果てまで、力をもって君臨する。

主は沢の流れでかわきをいやし、  
こうして、その力を現す。  
栄光は父と子と聖霊に、  
初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

### 第二唱和 (詩編114) エジプトから解放されたイスラエル

先 地は神の前におののけ。(アレルヤ。)

イスラエルがエジプトを出て  
ヤコブの家がことばの違う民から離れた時、  
ユダは神の聖地となり、  
イスラエルは神の国土となった。

海はこれを見て退き、  
ヨルダンはその流れをもどした。  
山は雄羊のようにおどりががり、  
丘は小羊のように喜びおどった。

海よ、どうして退くのか。  
ヨルダンよ、どうして流れをもどすのか。  
山よ、どうして雄羊のようにおどりががり、  
丘よ、どうして小羊のように喜びおどるのか。

地は神の前に、ヤコブの神の前におののけ。  
神は岩を流れに、石を泉に変えられた。  
栄光は父と子と聖霊に、  
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

### 第三唱和 (黙示録19・1-7) 小羊の婚宴

先 神をほめたたえよう。(アレルヤ。)

勝利と栄光と力はわたしたちの神のもの、  
神のさばきは真実で正しい。  
神のすべてのしもべよ、わたしたちの神を賛美せよ。

神をおそれ敬う者はみな、神を賛美せよ。

主は万物を支配され、  
わたしたちの神である主は王となられた。  
わたしたちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。  
小羊の婚宴の時に来て、花嫁のしたくはできた。  
栄光は父と子と聖霊に、  
初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

---

四旬節には以下を唱える。

### 第三唱和（一ペトロ 2・21b-24）神のしもべの受難

先 キリストは、わたしたちのために苦しみを受け、模範を残された。

キリストは、わたしたちのために苦しみを受け、  
あなたがたがその跡に従うよう模範を残された。  
キリストは罪を犯したこともなく、  
いつわりを口にされたこともない。

ののしられてもののしり返すことなく、  
苦しめられてもおどすことなく、  
正しくさばかれるかたに、  
ご自身をゆだねられた。

わたしたちが罪に死んで正しく生きるため、  
キリストは十字架の上で、  
わたしたちの罪を身に負われた。  
その傷によって、あなたがたもいやされた。  
栄光は父と子と聖霊に、  
初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

---

### ことばの典礼

5 その日のミサのことばの典礼を続ける。

### 6 第一朗読

朗読者はミサと同じように聖書を朗読する。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

## 7 答唱詩編

一同は答唱詩編を歌うか唱える。

## 8 第二朗読

第一朗読と同じように行われる。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

## 9 アレルヤ唱（詠唱）

一同は起立し、アレルヤ唱（詠唱）を歌う。

## 10 福音朗読

通常は、助祭が朗読する。

助祭が不在で信徒の司会者が朗読する場合、朗読前の「主は皆さんとともに」は省く。

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 ○○○による福音。

会衆 主に栄光。

朗読の後、助祭または信徒の司会者は福音書を両手で掲げて唱える。

助 キリストに賛美。

会衆 キリストに賛美。

## 11 説教（勧めのことば）

助祭が司式する場合は説教を行う。

信徒が司会する場合、司祭があらかじめ準備した説教を読み上げるか、司祭とともに準備した、福音朗読に基づくふさわしい勧めのことばを述べることができる。

説教（勧めのことば）の後、一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

## 12 信仰宣言

一同は起立して、以下のいずれかの信条を歌うか唱える。

### ニケア・コンスタンチノーブル信条

一同 わたしは信じます。唯一の神、全能の父、

天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。

わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。

主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、

神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、

造られることなく生まれ、父と一体。すべては主によって造られました。

主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となられました」まで一同は礼をする。

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。  
ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、  
苦しみを受け、葬られ、  
聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。  
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。  
その国は終わることがありません。  
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。  
聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、栄光を受け、  
また預言者をとおして語られました。  
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。  
罪のゆるしをもたらず唯一の洗礼を認め、  
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。  
アーメン。

#### 使徒信条

- 一同 天地の創造主、全能の父である神を信じます。  
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。  
以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。  
主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、  
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、  
十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、  
三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、  
生者と死者を裁くために来られます。  
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、  
からだの復活、永遠のいのちを信じます。  
アーメン。

#### 13 マリアの歌

続いて、一同はマリアの歌を歌う。歌の初めに一同は十字架のしるしをする。

交唱 わたしは神をあがめ、神の救いに喜びおどる。(アレルヤ。)

✦ わたしは神をあがめ、  
わたしの心は神の救いに喜びおどる。

神は卑しいはしためを顧みられ、  
いつの代の人もわたしをしあわせな者と呼ぶ。

神はわたしに偉大なわざを行われた。  
その名はとうとく、あわれみは代々、神をおそれ敬う人の上に。

神はその力を現し、

思いあがる者を打ち砕き、

権力をふるう者をその座からおろし、  
見捨てられた人を高められる。

飢えに苦しむ人はよいもので満たされ、  
おごり暮らす者はむなしくなって帰る。

神はいつくしみを忘れることなく、しもベイスラエルを助けられた。  
わたしたちの祖先、アブラハムとその子孫に約束されたように。

栄光は父と子と聖霊に、  
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

交唱 わたしは神をあがめ、神の救いに喜びおどる。(アレルヤ。)

#### 14 共同祈願（信者の祈り）

司会者の招きが続いて、他の奉仕者が意向を唱える。

#### 15 主の祈り

司会者の招きが続いて、一同は主の祈りを唱える。

一同 天におられるわたしたちの父よ、  
み名が聖とされますように。  
み国が来ますように。  
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。  
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。  
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。  
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

### 閉祭

#### 16 お知らせ

必要に応じて会衆に対して短いお知らせが行われる。

#### 17 祝福と派遣

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 全能の神、父と子と聖霊の祝福が ✦ 皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

助 行きましょう。主の平和のうちに。(アレルヤ。)

会衆 神に感謝。(アレルヤ。)

---

信徒が司会する場合、会衆とともに十字架のしるしをしながら言う。

司 ✦ 全能の神がわたしたちを祝福し、  
すべての悪から守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

司 賛美と感謝のうちに。

会衆 アーメン。

---

18 結びにふさわしい聖歌を歌うことができる。